

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 16 (2004) 年

第 4 回日本核医学会理事会議事録

日 時：平成 16 (2004) 年 11 月 3 日 (水)

12 時 30 分～16 時 40 分

場 所：京都宝ヶ池プリンスホテル 比叡の間

出 席：理事長：利波紀久

会長：西村恒彦

理事：油野民雄, 伊藤健吾, 井上登美夫,
宇野公一, 大鈴文孝, 尾川浩一, 久保
敦司, 小泉 潔, 阪原晴海, 佐治英郎,
穴戸文男, 竹田 寛, 玉木長良, 福永
仁夫, 本田憲業

春季合同セミナー会長：今枝孟義

監事：日下部きよ子, 中條政敬

幹事長：中嶋憲一

日本核医学会事務局：神田正子

欠 席：中川原讓二

議 題

I. 審議事項

1. 第 47 回会長の推薦
2. 平成 16 年度事業計画 (小泉潔理事)
3. 平成 16 年度収支予算案 (久保敦司理事)
4. PET 核医学認定医制度について
(油野民雄理事)
5. 中間法人設立について (小泉潔理事)
6. FDG-PET がん検診ガイドラインについて
(宇野公一理事)
7. 評議員会, 総会の議事進行について
(利波紀久理事長)
8. 会員名簿作成について (小泉潔理事)
9. その他

II. 報告事項

1. 第 44 回総会状況報告 (西村恒彦会長)
2. 第 45 回総会準備状況報告
(日下部きよ子次期会長)
3. 第 5 回春季合同セミナー準備状況報告
(今枝孟義大会長)
4. 第 12 回実践セミナー準備状況報告
(穴戸文男理事)
- 第 13 回実践セミナー準備状況報告
(油野民雄理事)
5. 平成 15 年度事業報告 (本田憲業理事)
6. 平成 15 年度収支決算報告
(久保敦司理事)
7. 委員会報告
 - 1) 編集委員会 (玉木長良理事)
 - 2) 教育・専門医審査委員会
(油野民雄理事)
 - 3) 健保委員会 (久保敦司理事)
 - 4) 広報委員会 (尾川浩一理事)
 - 5) 法人化対応委員会 (小泉潔理事)
 - 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
 - 7) リスクマネジメント委員会
(竹田寛理事)
 - 8) 放射線防護委員会 (竹田寛理事)
 - 9) PET 核医学委員会 (伊藤健吾理事)
 - 10) 倫理検討委員会 (井上登美夫理事)
 - 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成
委員会 (久保敦司理事)
8. ワーキンググループ (伊藤健吾理事)
9. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会
(阪原晴海理事)

- 2) 日本脳神経核医学研究会 (中川原譲二理事)
- 3) 日本心臓核医学会 (利波紀久理事長)
- 4) 呼吸器核医学研究会 (井上登美夫理事)
10. 世界核医学会 (西村恒彦会長)
11. 米国核医学会 (玉木長良理事)
12. アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務) (阪原晴海理事)
13. 日韓中核医学会 (小泉潔理事)
14. その他
 - ・PET サマーセミナーの位置づけ (西村恒彦会長)
 - ・第 51 回 SNM における Continuing Education Program (西村恒彦会長)
 - ・核医学技術学会との連携について (本田憲業理事)

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)
2. その他

審議事項

1. 第 47 回会長の推薦(資料)
評議員推薦アンケート結果(推薦人 179 名投票, 投票総数 76 票) が報告され, 理事会で投票の結果, 福田寛氏が理事会投票総数 17 票中 12 票で第 47 回会長として選出された。
2. 平成 16 (2004) 年度事業計画(資料) (小泉潔理事)
第 45 回学術集会, 春季合同セミナー, 核医学実践セミナー, 地方会, 分科会, その他の研究会, 会誌・資料等の発行, 庶務計画について資料に沿って説明があった。なお, 評議員会は平成 17 (2005) 年 11 月 10 日に, 総会は 11 日に開催される。
3. 平成 16 (2004) 年度収支予算案 (資料) (久保敦司理事)

資料の別表 III により説明された。本年度の特徴として, 学術総会開催援助金 200 万円の援助, 研究成果データベース作成事業 290 万円,

名簿作成費 50 万円等があげられる。

4. PET 核医学認定医制度について(資料) (油野民雄理事)
資料 を最終案として説明があり, 核医学専門医も含めて試験を受けることで合意を得た。原則的には認定試験を受けるとした方が学会として認定が保証され対外的にもみても納得しやすいとの意見と同時に, 専門医試験に PET に関する内容も含まれており PET の知識を有すると判断されるのではないかと, また専門医のメリットをどうするかという意見が出された。
5. 中間法人設立について (小泉潔理事)
学会を法人化するか, あるいは医師だけの子学会の法人化をするか検討されたが, 後者の場合に学術団体としての実績について認定されるかどうか問題が生じ, むしろ正会員の割合 (80% 以上が認定の基準) を増やす方策も考えられる。核医学を標榜できる法人化をめざし, 今後さらに慎重に検討を行う。
6. FDG-PET がん検診ガイドラインについて(資料) (宇野公一理事)
資料のガイドラインの説明がなされた承された。日本核医学会・臨床 PET 推進会議の 2004 年度版として報告する。
7. 評議員会, 総会の議事進行について(資料) (利波紀久理事長)
評議員会, 総会の議事進行について確認がなされた。
8. 会員名簿作成について(資料) (小泉潔理事)
日本核医学会個人情報管理規定案, 会員名簿調査項目案について説明がなされた。個人情報のセキュリティをどのように確保するか, 名簿を冊子とすかどうか意見が出されたが, 本案は基本的に了承された。資料中 D 項の但し書きは削除する。

報告事項

1. 第 44 回総会状況報告 (西村恒彦会長)
現総会(京都)について説明がなされた。
2. 第 45 回総会準備状況報告(資料)
(日下部きよ子次期会長)
会場はタワーホール船堀で予定されており、
テーマなどの概要が説明された。
3. 第 5 回春季合同セミナー準備状況報告
(今枝孟義大会長)
平成 17 (2005) 年 5 月 27-29 日に予定されて
おり準備状況が説明された。
4. 第 12 回実践セミナー準備状況報告(資料)
(宍戸文男理事)
平成 16 (2004) 年 11 月 27 日に福島大会が予
定されている。
第 13 回実践セミナー準備状況報告(資料)
(油野民雄理事)
平成 17 (2005) 年 5 月 14 日に北海道大会が旭
川で予定されている。
5. 平成 15 年度事業報告(資料)
(本田憲業理事)
資料に沿って事業報告がなされた。第 19 回
北海道地方会の開催日を 16.6.5 に訂正する。
6. 平成 15 年度収支決算報告(資料)
(久保敦司理事)
収支計算書別表 I にそって説明がなされ了承
された。
7. 委員会報告
 - 1) 編集委員会(資料) (玉木長良理事)
活動状況についての報告がなされた。投
稿状況は少し減少したが、総説掲載は順調
に進められている。総会抄録とプログラム
を別にするかどうかは当面は大会長に一任
するが、今後の課題として検討する。英文
校正料と別刷りの無料配布の適否は中止の
方向で検討中である。オンライン査読シス
テムについて資料に沿って有限会社クワン
タムからの提案書が紹介され、システム導
入の方向で検討することになった。会員情
報管理システムとの結合を考えるが、大会

- 抄録受付管理システムは組み込まない予定
である。
- 2) 教育・専門医審査委員会(油野民雄理事)
特になし
 - 3) 健保委員会 (久保敦司理事)
内保連、外保連との交渉の進行状況が本
田理事より補足説明された。追加資料とし
て「生体検査報酬に関する外保連試案(第 3
版)」あり。
 - 4) 広報委員会(資料) (尾川浩一理事)
ホームページおよび電子メールでの情報
提供を進めている。核医学データベース作
成委員会でデータの収集を開始している。
また、症例データベースで次年度の文科省
補助金を申請している。
 - 5) 法人化対応委員会 (小泉潔理事)
特になし
 - 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
特になし
 - 7) リスクマネジメント委員会(資料)
(竹田寛理事)
核医学アンケート集計結果の説明があっ
た。
 - 8) 放射線防護委員会(資料)
(竹田寛理事)
医療放射線防護連絡協議会が開かれ、会
長に古賀佑彦氏、総務理事に菊池透氏を選
出した。
 - 9) PET 核医学委員会(資料)
(伊藤健吾理事)
臨時 PET 研修セミナーを 1 月 8, 9 日に
予定しており、すでに 350 名の申し込みがあ
る。過去の PET 研修セミナーの取り扱いに
ついては、医療法施行規則改正のため、補
足資料の内容を理解したことを示す再認定
申請書を準備する。PET 認定医には試験審
査が必要となるためその方法は検討する。
「FDG-PET 検査における安全性確保に関する
ガイドライン」の改訂については井上登美夫
理事より作業中であることが報告された。

PET-CTの保険導入については厚労省保険局医療課にて要望を行った。資料「PET-CT装置の有用性と検査料に関する提案」について説明がなされ、検査料金について複数案が示された。本提案書はラジオアイソトープ誌に掲載する予定である。平成18(2006)年度の診療報酬の改定に関連して、PETの適応拡大、検査費用の増加、共同利用率等について打ち合わせを行っていることが報告された。

- 10) 倫理検討委員会 (井上登美夫理事)
核医学会として倫理に関する基本的な問題について討議予定である。
- 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (久保敦司理事)
同ガイドラインを厚労省に見て頂きコメントが付されたため、見直し作業が行われているとの報告があった。
8. ワーキンググループ (伊藤健吾理事)
「FDG PET 検査の適正利用に関する検討」の研究代表者が藤井博史氏(慶応大学)から窪田和雄氏(国立国際医療センター)に変更になった。日下部きよ子監事より「バセドウ病の放射性ヨード内用療法に関するガイドライン」と「甲状腺癌の放射性ヨード内用療法に関するガイドライン」(日本核医学会分科会腫瘍免疫核医学研究会、「放射性内用療法」委員会編集)について説明され、本ガイドラインの学会誌での発表や学会での教育活動を考慮すること、さらに内用療法の受け入れ可能施設についても明確にすることが必要となることが説明された。
9. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会(資料) (阪原晴海理事)
平成17(2005)年7月23日に仙台で開催予定である。
 - 2) 日本脳神経核医学研究会 (中川原譲二理事)
報告なし
 - 3) 日本心臓核医学会 (利波紀久理事長)
11月6日午後に予定されている。
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (井上登美夫理事)
平成17(2005)年5月14日に第12回、高松で開催予定であり、香川大学佐藤先生の担当で準備が進められている。
 10. 世界核医学会(資料) (西村恒彦会長)
阪原晴海理事より10月11日に施行された会議の報告がなされた。2010年は南アフリカでの開催に決定した。
 11. 米国核医学会 (玉木長良理事)
2005年にも米国核医学会ジョイントセミナーを予定し、日本核医学会ブースを作る予定である。
 12. アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務)(資料) (阪原晴海理事)
事務局会議が10月12日に施行され、2008年はインドでの開催に決定した。
 13. 日韓中核医学会 (小泉潔理事)
特になし
 14. その他
 - ・PET サマーセミナーの位置づけ (西村恒彦会長)
伊藤健吾理事より説明がなされた。9月18日に今後の位置づけを相談した結果、従来のセミナーの性格を維持しながらも核医学会との関連をもちたいとの意見が出され、核医学会分科会とする案も出されたが、引き続き討論される予定である。
 - ・第51回SNMにおけるContinuing Education Program (西村恒彦会長)
玉木長良理事より、西村恒彦会長の担当であり冠動脈動脈硬化症をテーマとしてDr. Schelbertと検討中であることが報告された。
 - ・核医学技術学会との連携について (本田憲業理事)
核医学技術学会との連携に関して作業を継続していることが報告された。

確認事項

1. 前回議事録(資料)
確認され了承を得た。
2. その他
 - ・ 玉木長良理事より、追加資料の「学術誌データベース利用規程」について説明があり了承された。
 - ・ 井上登美夫理事より FDG の次の PET 製剤の保険適応申請として、アンモニア、水、メチオニン製剤の自動合成装置を認定するために学会としての活動が必要であるとの意見が出されたが今後の検討課題とした。
 - ・ 次回理事会：次回予定は 2005 年 1 月 24 日とする。

§ 日本核医学会平成 16 年評議員会議事録

日 時：平成 16 年 11 月 4 日(木) 12:00～13:00

場 所：国立京都国際会館 宴会場「さくら」

出席評議員数：126 名(委任状を含む)

日本核医学会会則に則り、会長が議長を務めた。出席者が定足数を超え、評議員会の成立が確認された。

議事

1. 西村会長より、第 44 回日本核医学会総会について報告があった。
2. 第 45 回日本核医学会総会は平成 17 年 11 月 11 日～13 日にタワーホール船堀で開催されることが報告され、了承された。
3. 西村会長、本田庶務担当理事より資料に基づき平成 15 年度事業報告が行われ承認された。
 - (1) 平成 17 年度会長(第 46 回学術集會会長)として中條政敬氏(鹿児島大)が、平成 18 年度会長(第 47 回学術集會会長)として福田寛氏(東北大)が理事会より推薦されたことの報告があり承認された。
 - (2) 名誉会員に油井信春氏を総会に推薦することが承認された。功労会員に高橋豊氏、

森田陸司氏、館野之男氏、斎藤俊孝氏、黒川由一氏、梶田明義氏、堀田とし子氏の 7 名を総会へ推薦することが承認された。

- (3) 教育・専門医審査委員会より油野担当理事が PET 核医学認定医制度について報告を行い、質疑応答がなされた。
- (4) 伊藤担当理事よりワーキンググループ活動報告があった。
4. 久保会計担当理事が平成 15 年度収支決算報告を行った。次いで中條監事より、事務局において帳簿等監査の結果、会計は適正に処理されていることを確認したと報告され承認された。
5. 小泉庶務担当理事が資料に基づき平成 16 年度事業計画を提案し承認された。
6. 久保会計担当理事が資料に基づき平成 16 年度収支予算案を提案し承認された。
7. 評議員より日本核医学会の法人化について質疑応答がなされた。
8. 日下部次期会長より挨拶があった。

資料

第 44 回日本核医学会総会資料

平成 15 年度物故会員

平成 15 年度推薦名誉・功労会員

平成 16 年度日本核医学会役員

平成 15 年度核医学編集委員会報告

平成 15 年度日本核医学会収支計算書

平成 15 年 9 月 1 日～平成 16 年 8 月 31 日

平成 15 年度日本核医学会財産目録

平成 16 年 8 月 31 日現在

平成 16 年度日本核医学会収支予算書(案)

平成 16 年 9 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日

日本核医学会会則

§ 日本核医学会平成 16 年総会議事録

日 時：平成 16 年 11 月 5 日 (金) 8:30～9:30

場 所：国立京都国際会館 第 I 会場

出席者および委任状提出者：797 名

議題

1. 平成 15 年度事業報告および収支決算報告
2. 平成 16 年度事業計画および収支予算案
3. 平成 17 年度会長 (平成 18 年開催第 46 回学術集会会長) 選任
4. 平成 16 年度会長 (平成 17 年開催第 45 回学術集会会長) 挨拶
5. 各賞贈呈
6. 名誉会員証・感謝状贈呈

出席者と委任状の合計が定足数を超過していることを確認した。

会則に則り、西村会長が議長を勤め、配布資料に基づき議事が行われた。

議事に先立ち平成 15 年度の物故会員の河村文夫、上村和夫、小山善之、杉下靖郎、留森貴志、三森研自、宮地幸隆 (敬称略) のご冥福を祈り黙祷した。

議事

1. 本田庶務担当理事より資料に基づき平成 15 年度事業報告が行われ承認された。

第 44 回学術集会を西村恒彦会長のもとに平成 16 年 11 月 4 日～6 日京都にて開催中。

第 4 回春季合同セミナー (吉田祥二大会長)、第 9 回核医学実践セミナー鹿児島大会 (中條政敬大会長)、第 10 回核医学実践セミナー岡山大会 (福永仁夫大会長)、第 11 回核医学実践セミナー愛知大会 (伊藤健吾大会長)、第 2 回日中韓核医学会議 (利波紀久大会長) が開催された。

久保理事が平成 15 年度収支決算報告を行った。次いで中條監事より事務局において帳簿等

監査の結果、会計は適正に処理されていることを確認したと報告され承認された。

2. 小泉庶務担当理事が資料に基づき平成 16 年度事業計画を提案し承認された。

第 45 回学術集会を日下部きよ子会長のもとに平成 17 年 11 月 11 日～13 日東京にて開催予定。

第 5 回春季合同セミナー (今枝孟義大会長)、第 12 回核医学実践セミナー福島大会 (宍戸文男大会長)、第 13 回核医学実践セミナー北海道大会 (油野民雄大会長) を開催予定。

久保会計担当理事が資料に基づき平成 16 年度収支予算案を提案し承認された。

3. 名誉会員として油井信春氏を、功労会員として高橋豊氏、森田陸司氏、館野之男氏、斎藤俊孝氏、黒川由一氏、梶田明義氏、堀田とし子氏の 7 名を推薦することが承認された。
4. 第 46 回日本核医学会総会会長候補 (平成 18 年) として中條政敬氏が理事会、評議員会で選出されたことが報告され、第 46 回日本核医学会総会会長として承認された。
5. 第 45 回日本核医学会総会会長日下部きよ子氏より挨拶があった。
6. 第 42 回日本核医学会賞が鈴木正彦、長谷川新治、山本由佳、渡部浩司 (敬称略) に、第 43 回日本核医学会賞が鳥塚達郎 (敬称略) に、第 1 回日本核医学会研究奨励賞が伊藤浩、河村和紀、張宏 (敬称略) に、2004 年日本核医学会機関誌論文賞が佐々木雅之 (敬称略) に、Asia and Oceania Distinguished Young Investigator's Award が Jingming Bai, Partha Sarathi Choudhury, Eo Jae Seon, JianFei Guo, Dinesh Kumar Dhanwal (敬称略) に贈呈された。
7. 田邊正忠氏、飯沼武氏、北方勇輔氏、福地稔氏、石橋晃氏、高橋恒男氏へ名誉会員証が贈呈された。
8. 第 43 回日本核医学会総会会長の久保敦司氏に日本核医学会への貢献により、感謝状が贈呈された。